

大会報告書

「青少年のための科学の祭典」松山大会報告書

- 開催日時 2023年10月28日（土）～10月29日（日）の2日間両日とも9:30～16:00開催
- 会場 愛媛大学教育学部2号館・3号館（〒790-8577 住所 松山市文京町3）
- 主催 青少年のための科学の祭典松山大会実行委員会
公益財団法人日本科学技術振興財団
- 共催
- 後援 文部科学省/愛媛県教育委員会/愛媛県市町教育委員会連合会/松山市教育委員会
公益財団法人松山市文化スポーツ振興財団/愛媛県 PTA 連合会/愛媛県高等学校 PTA 連合会
愛媛県教育研究協議会/愛媛県高等学校教育研究会/全国科学館連携協議会/
全国科学博物館協議会/NHK/日本物理学会/一般社団法人日本生物教育学会/
日本地学教育学会/日本基礎化学教育学会/一般社団法人日本科学教育学会/
一般社団法人日本理科教育学会/一般社団法人日本地質学会/一般社団法人日本生物物理学会/
一般社団法人日本物理学会/公益社団法人応用物理学会/公益社団法人日本化学会/
一般社団法人日本機械学会/公益社団法人日本アイソトープ協会/
一般社団法人日本私学教育研究所/公益社団法人日本植物学会/公益社団法人日本動物学会/
公益社団法人日本天文学会/公益社団法人日本工学会/一般社団法人電気学会/
日本エネルギー環境教育学会
- 協賛・協力 四国電力（株）/（株）伊予銀行/（株）愛媛銀行/愛媛信用金庫/井関農機（株）
PHC 株式会社/愛媛県学校生活協同組合連合会/松山市教育用品（有）/（株）愛媛新聞社
四国ガス（株）/米山工業（株）/コスモ松山石油（株）/大和教材（株）
（株）シマダジムキ/（株）松山堂書店/富士教材（有）/盛重図書教材（有）
- 来場者数
10月28日 900人
10月29日 2100人

■実施内容

従来の松山大会では、コミュニティセンターでの実施で2日間で4,000人～5,000人の参加者がいたが、今大会は愛媛大学教育学部で実施した。人数は減少しているが、大学へは間違いなく本イベントへの参加できているため、実感としては例年以上の参加となっていると考えられる。また、独自に行ったアンケートをみると、参加した子どもは十分に楽しんだと思われる。

■ 出展数 39出展

■ 出展タイトル一覧

A サイエンスショー

- 1 超低温の世界
- 2 光の科学
- 3 パズルの世界
- 4 空気パワー大実験

B いろいろな実験工作

- 5 ペットボトル空気砲を作ろう
- 6 水素ロケットを飛ばそう
- 7 こすってまわそう！
- 8 化石のレプリカをつくろう
- 9 石鎚山の生き物を知ろう
- 10 プラ板でつくるアクセサリー
- 11 カラフルいくら
- 12 カラフルスライムをつくろう
- 13 作ったスライムで錯覚を体験してみよう
- 14 くつつく種のひみつ
- 15 視覚の不思議
- 16 ポンポン船を作って競争しよう
- 17 小型ドローンを飛ばそう
- 18 「開くとバンザイ」を作ろう
- 19 野菜ジュースを分離(ぶんり)してみよう
- 20 自然のおくりもの
- 21 岩石標本を作ろう
- 22 カラフル落ち葉を作ろう！
- 23 海岸の砂からマイクロプラスチックを見つけよう

- 24 目が伸びるってどういうこと？
- 25 シャカシャカライトを作ろう
- 26 環境保全について考えてみよう！
- 27 ハナムグリを観察しよう！
- 28. 放射線ってなに？

C 科学工作教室

- 29 虹色ホログラム万華鏡
- 30 変成岩でつくるジオラマ
- 31 センサーライトをつくろう
- 32 進め！ ホバークラフト☆
- 33 プラコップでスピーカーを作ろう
- 34 うごく絵をつくってみよう！

D 中高生のためのサイエンス

- 35 スケッチをしてみよう！
- 36 熱電素子を用いた霧箱で放射線を観察しよう！
- 37 魔法と化学の世界へようこそ
- 38 細胞の大きさを測ってみよう！

E 宇宙教室

- 39 コズミックカレッジ

■製作物

- ・ポスター : A3版／5色／製作部数：200枚
- ・チラシ : A4版／表紙5色、裏モノクロ／製作部数：40,000枚←小学生向け
- ・チラシ : A4版／表・裏ともモノクロ／製作部数：10,000枚←中・高生向け

■広報活動

- ・製作物（チラシ）は、協力団体により募集地域の小学校には生徒数分、中学校・高等学校に50枚～200枚配布した。また、ポスターは、各学校1～2枚配布した。また、後援団体（愛媛県教育委員会など）にも配布した。
- ・新聞：愛媛新聞（10月30日朝刊）
- ・その他：（会場に懸垂幕を設置）